

415 超音波（TVプローブ）による卵巣癌集団検診の試み：第2報

弘前大

蓮尾 豊，太田真司，小野大志，鍵谷昭文，
佐藤重美，斎藤良治

〔目的〕1989年以来，われわれは経膈超音波断層法による卵巣癌の集団検診を試み，その臨床的意義につき検討した。〔方法〕検診車方式による子宮癌集検受診者全例を対象とし，子宮頸部細胞の採取，内診に引き続き，経膈超音波断層法による卵巣癌のスクリーニングを行った。要二次検診とされたものには，経膈超音波断層検査の再検査とCAMPAS OV-1検査を行い，要精検群，要経過観察群，経過観察不要群の3群に分類した。要精検群に対しては，CT，MRIなどの検査を行い，要治療群と要嚴重経過観察群に分類した。要治療群に対しては，腫瘍を摘出のうえ病理組織学的検討を行った。要嚴重経過観察群に対しては，1カ月毎の経過観察を行い，その成績により必要時に腹腔鏡検査や穿刺細胞診を行った。〔成績〕(1)平成元年4月より平成2年9月までに101回，10,878名の一次検診を行った。(2)要二次検診者は643名（要二次検診率5.9%）であった。452名が二次検診を受診し，要精検群66名（14.5%），要経過観察群287名（63.4%），経過観察不要群99名（22.1%）に分類された。要精検群66名は，35名の要治療群と31名の要嚴重経過観察群に分類された。(3)要治療群35名中26名に対し腫瘍を摘出のうえ病理診断を行った。その成績は，皮様嚢腫10例，漿液性嚢胞腺腫8例，ムチン性嚢胞腺腫2例，子宮内膜症性嚢胞2例，副卵巣嚢腫1例，有茎性漿膜下筋腫1例，子宮留膿腫1例と卵巣悪性腫瘍（卵黄嚢腫瘍，臨床進行期Ic期）1例であった。〔結論〕子宮癌集検受診者10,878名につき，経膈超音波断層検査による卵巣癌のスクリーニングを実施した。1例の早期卵巣悪性腫瘍が発見され，卵巣癌集検として経膈超音波断層法の有用性が確認された。

416 癌化学療法時にみられる口内炎の予防および治療

総合病院鹿児島生協病院

神渡幹夫

〔目的〕癌化学療法時にみられる口内炎の予防効果をallopurinol含嗽水（以下allo水）を作成してrandomized control studyで検討した。また，口内炎発症症例に対する効果も検討した。

〔対象症例と方法〕子宮癌に対する化学療法CDDP（80mg/m²）+ 5FU（750mg/m²，day1-5，continuous）（以下PF療法）を15症例に，絨毛性疾患に対する化学療法MTX（15mg/m²，day1-4，continuous）+ Act-D（0.35mg/m²，day1-4，bolus）+ VP-16（120mg/m²）（以下MAE療法）を6症例，合計21症例である。allo水はcarboxymethylcelluloseにallopurinolを溶解し作成し（1mg/ml），抗癌剤投与前後に1日4～5回含嗽させた。治療効果は癌治療学会の口内炎副作用判定基準を用いた。

〔成績〕PF療法群ではallo水非投与群の口内炎の程度は平均1.9であり，allo水投与群は平均0.2であった。MAE療法群ではallo水非投与群の口内炎の程度は平均2.3であり，allo水投与群は平均1.3であった。また，非投与症例で発生した口内炎もallo水投与により，口内炎に対する他の薬剤投与例に比較し速やかに改善した。

〔結論〕allo水は癌化学療法時に発生する口内炎に対し，予防・治療いずれに対しても著しい効果を認め，副作用として口内炎がみられる薬剤を使用するときには，積極的に使用する有用性が確認された。